

学生による学生のための

『音声認識を利用した情報保障プロジェクト』<sup>注)</sup>

テイカーの立場から見た PC テイク情報保障の課題

支援の質の維持 **テイカー不足の解消**

テイクの負担の偏り解消 支援学生の養成



**音声認識を用いてこれらの問題を解決できないか？**

2名の PC テイカー



教員の発話を2名のテイカーが交互に  
タイピングして文字化する。

音声認識 + 1名の PC テイカー



教員の発話を音声認識機能によって  
文字化し1名のテイカーが修正する。

これまでの取組み：

異なる機器・ソフトウェアの組合せによる音声認識精度評価実験  
実用に向けた異なる講義形態・教室環境における実験  
教員・支援学生向け利用マニュアル作成



注) 学生発案プロジェクト

札幌学院大学コラボレーションセンターが必要経費を支給し学生の自発的な活動を支援